駒澤大学長

学 費 等 延 納 願 （令和６年度前期用）

私は、学業を継続し、下記期日までに学費等を納入することを誓約いたしますので、下記の理由を考慮いただき、学費等納入期限の延期を許可くださいますようお願い申し上げます。

なお、下記確認事項を承諾し、いかなる事情があっても異議申立てしないことを誓約いたします。

【学生記入欄】

記入年月日	令和　　年　　月　　日		
氏名	ﾌﾘｶﾞﾅ		㊞
学生番号			
年　次	年次		

学部　　学科
専攻　（　フレA・フレB　）
大学院　　研究科　　専攻
（　修士課程　・　博士後期課程　）
法科大学院
（　既修者コース　・　未修者コース　）

連絡先住所	〒　　－ （携帯電話番号　　－　　－　　）

① 学費等延納理由　（該当の□すべてにチェックを入れて下さい）

□親や親族の業績不振・解雇・倒産等の経済的事情　□兄弟姉妹の納入時期重複　□学生本人のアルバイト収入の不足
□病気、怪我等による突発的支出増加　□災害・事故等　□海外送金の遅れ　□その他（具体的に記入してください）

② 学費等調達計画　（該当の□すべてにチェックを入れて下さい）

□奨学金の受給（奨学金名：　　）　□学生本人のアルバイト収入
□親や親族の金融機関等教育ローンの融資　□親や親族の給与・賞与
□親や親族の預貯金・保険等の満期や資産売却による収入　□その他（具体的に記入してください）

学費等延納手続きに係る確認事項　※ 内容を確認して✓してください。

- □ 別紙「令和６年度前期学費等延納手続きについて」を確認し、記載内容について理解いたしました。
- □ 学費等延納願申請内容について、事前に学生と保証人とで確認いたしました。
- □ 学費等延納願記載の延納許可期日が延納期限になることを確認し、延納許可期日までに納入いたします。
- □ 前期休学を希望する場合は、延納許可期日に関わらず、休学手続期限前（令和６年６月28日）までに前期分学費等を納入しなければ休学願が受理されないことを確認いたしました。
- □ 延納許可期日を超過した場合の事務取扱について、①延納許可期日を超過した者が督促納入期限までに納入しない場合、②延納許可期日を超過した者が督促納入期限を超過して納入した場合、延納許可を取消し、学費未納者としての事務取扱になることを確認いたしました。
- □ 学費未納者は、所定期日をもって学則に基づき除籍となることを確認いたしました。
- □ 学費未納者は、学則に基づき令和６年３月31日付除籍となり、今年度履修科目および修得科目がすべて無効となることを確認いたしました。

延納許可期日：令和６年７月22日

【保証人記入欄】　※保証人は大学に届けられている保証人とし、必ず、保証人本人が署名・捺印してください。

上記、「学費等延納手続きに係る確認事項」について、保証学生とともに確認し了承いたしました。

保証人氏名 捺印（学生との続柄）	㊞　（続柄:　　）
保証人連絡先	〒　　－ （日中連絡先　　－　　－　　）

※　学費等延納手続き書類記載に際し、提供いただいた個人情報は、学費等延納手続きに関する大学・学生・保証人間の事務手続きおよび連絡手段としてのみ使用いたします。学費等延納事務担当者が厳重に管理し、本学学則に基づく保証人以外の第三者への個人情報提供は一切行いません。

※　財務部受付印・延納許可 No.が押印されていないものは無効です。

財務部使用欄 （ 窓口・郵送 ）	受付印　　延納許可 No.